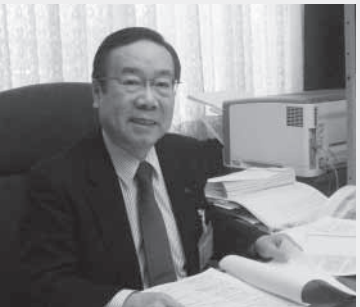


「コミュニティ紙

「ぱーとなーず」の発行

ACTIVE KUMIAI

山梨県民信用組合



廣瀬理事長

昨年7月、山梨県民信用組合の新しい理事長に、公益社団法人やまなし産業支援機構の前理事長の廣瀬正文氏が就任した。

廣瀬理事長は、コンサル業務体制の充実や、融資とセットで総合的に支援拡充を図る、新しいビジネスモデルの提案など

中小零細企業支援、6次産業化やクリーンエネルギー産業など新産業の創出や新分野への進出を支援するための新金融商品の開発などに積極的に取組んでいる。

機関誌の「コミュニティ紙『ぱーとなーず』の創刊もその一環で、『ぱーとなーず』は、①地域と県民信組をつなぐ手段、②新規顧客などお客様への訪問の際のツール、③県民信組のイメージアップなどを目的としている。

発行部数は、12,000部、隔月の奇数月に発行されており、既に4号が発行され、オンラインワンを目指す元気印の中小企業や地域でガンバル商店街の活動などを紹介している。

廣瀬理事長は、就任半年を経過し「中小零細企業は厳しい経済環境におかれているが、当組合が中小零細企業の最後の貸し手として、地域に寄り添いニーズに応え、さらに高齢化の取り組みとして、後継者問題も含め事業継承や相続のコンサルティング機能の充実を図ってまいります。

また、当組合は県下一円の店舗網を中心とした組織力を生かし、地域のネットワークの構築に取組み、積極的に外に向かって働きかける努力を行ない、営業店のエリアマーケティング分析を徹底し、地域のお客様が何を求めているかを念頭に、業務に取り組んでまいります。当組合はこれから新たなステージに入り、『原点復帰』を胸に刻み『反転攻勢の年』と位置づけて果敢にチャレンジを行ない、役員員一同一丸となって業務に取組み、『地域で最も信頼されるコミュニティバンク』となります。」と、今年の抱負を力強く語ってくれた。



コミュニティ紙「ぱーとなーず」